

地域人材ネット

ウォーキングやランニングを活用した過疎地域活性化

忠政 啓文 (ただまさ ひろふみ)

ウロボロス・アドベンチャーワークス 代表



○ 登録者情報

所在地

愛媛県久万高原町

略歴

元競歩日本代表として国際大会での入賞・全日本大会での優勝経験有り。健康運動指導士。(社)民間活力開発機構・温泉療養アドバイザー。

著書・論文等

『えひめトレイルコースガイド(2013年 NPO法人全国トレイルランニングガイド普及協会)』『えひめを歩こうウォーキングコースガイド』(2007年 愛媛新聞社) その他雑誌執筆、連載多数。

○ウォーキングやランニングを活用した過疎地域活性化

取組の内容

現在、国民的ブームとなっているウォーキングやランニング。これらの運動と、歴史・文化・生活・食などの地域資源を結び付け、イベント化、観光商品化し、特に人的交流の少なくなった過疎地域に特化して、人的交流の促進、新規ビジネスの育成、移住促進などの地域活性化に取り組んでいます。主な活動事例としては①【坂本龍馬脱藩の道トレイルランニングガイド育成事業】愛媛県大洲市東部の山間地域で、当地の歴史的資源である坂本龍馬脱藩の道(文化庁歴史の道100選に指定)にランニング客を誘致するための観光ツアー確率のため、地元第3セクターの宿泊施設・河辺ふるさとの宿と共同実施。トレイルランニングガイドを育成し、ランニングツアー開催の際のガイド役として従事してもらっています。②【中予山岳スポーツ資源開発事業】愛媛県より委託を受けて実施。愛媛県中部の山岳エリアにおいて、当該地域の歴史・文化的資源、商業施設等を結び付け、ウォーキング、トレッキング、ランニング、トレイルランニング、サイクリングなどの各種スポーツを楽しめるコースを開拓し、ガイドブックの発行や、ガイドの育成を実施しました。③【久万高原町高地トレーニング拠点開発事業】愛媛県上浮穴郡久万高原町の南部、高知県との境に位置する標高約1500mの四国カルストエリアにおいて、スキー場跡地など遊休施設をマラソンや自転車競技など各種スポーツ選手の高地トレーニング拠点施設としてリメイク。合宿客の誘致による新たなビジネスの創出をめざし活動中です。④【ニート社会復帰支援ウォーキング】えひめ若者サポートステーションからの依頼を受け、2014年度より、ニートの若者を対象としたウォーキング教室を毎月開催。引きこもりがちになるニートの若者たちに、ウォーキングを通じて体力向上、健康増進の意識を植え付け、就労の基礎となる体作りを促すと共に、外を歩くことで社会に触れる機会を与え、就労の意欲を高める試みを実施しています。



愛媛・四国カルストでのスノーシュートレッキング



久万高原町の里山を



坂本龍馬脱藩の道トレイルランニングガイド養成



石鎚山中の笹倉湿原にいく冒険トレッキングツアー



廃道になりかけの遊歩道を活用したトレイルランツアー

実績

主な活動事例として取り上げた①～③について説明します。①【坂本龍馬脱藩の道トレイルランニングガイド育成事業】については、2年のガイド育成期間で、15名のガイドを育成(大半が大洲市以外の住民)し、現在はガイドを活用したガイドツアーを河辺ふるさとの宿のツアー商品として販売(半日ツアー4000円)。10～20名程度の参加者で定期開催されています。②【中予山岳スポーツ資源開発事業】エリア内12カ所にツアーコースを設定し、それらを紹介するガイドブックを2000部発行。県内外のスポーツ店、アウトドアショップに配布。また、半年の事業実施期間で現地ガイドを8名育成しました。③【久万高原町高地トレーニング拠点開発事業】これはこれまで事業化に向け、2年かけ、町が設置した委員会での話し合い、専門家を招聘しての検証実験などを経て、議会承認。平成28年度よりいよいよ正式に事業化されるものです。維持経費等で赤字を計上し続けていた町営スキー場跡地の有効な再利用法として期待されています。④【ニート社会復帰支援ウォーキング】毎月1回、2年間にわたり実施しました。毎回10名前後の若者が参加。教室を通じて、体力の向上、健康状態の改善が見られた結果、就労意欲の向上や、実際の就労につながったケースも報告されています。

工夫した点や苦勞した点

ランニングやウォーキングと地域資源を組み合わせビジネスにしていくには、とにかく地域の歴史・文化・暮らしなど様々な知識や情報が必要になります。そのため、とにかく日々、現場に出て自分の足で調査することが重要になります。スポーツビジネスとはいえ、体力以上に知識を満たすための学習に時間を費やさなければならないのが苦勞したポイントです。

ひとことPR

ランニングやウォーキングといった『身一つ』できるスポーツを活用したビジネスは、設備投資などをほとんど必要せず始められるので財政的に厳しい過疎地域にとって大変有効なツールです。また、従事する住民が増えれば、必然的に運動する人口も増えますので、スポーツの振興、健康増進にもつながり一石二鳥にも三鳥にもなるビジネスモデル。ぜひ多くの自治体で取り入れていただきたいと思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(スポーツビジネス、あるものを生かしたビジネスプランづくり)
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

ウロボロス・アドベンチャーワークス	http://greens.st.wakwak.ne.jp/905585/index.html
えひめ茶碗蒸し研究会	http://ehimefstyle.net/archives/category/column/chawanmushi
四国のトレイルランスポット	http://ameblo.jp/tadamas2323/